

# 代表・一般質問

# 区政を



本会議の録画中継を  
区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

時間無料化を検討していく。  
都市計画道路の整備状況について  
【問】足立区内の都市計画道路の整備率は現在どの様になっているのか。

また、本年3月「区部における都市計画道路の整備方針」が策定され、優先整備路線が東京都から公表されたが、これら路線の事業化の考え方について伺う。  
【答】区内の都市計画道路の整備率は71%である。

事業化については、道路ネットワークの形成や渋滞の緩和、バス交通網の確保など整備効果の高い路線の優先整備、防災性の向上、まちづくりとの連携、第2次事業計画の検証を踏まえ、総合的に評価し、事業計画を早急に策定していく。  
道路・公園のバリアフリー化について

【問】道路の段差解消と点字ブロックの整備状況を見ると、連続性が無く場当たり的なものもある。計画的に取り組むべきと思うが、どうか。

【答】今後は、利用の多い公共施設等と交通機関を結ぶ路線など優先整備路線として選定し、連続性に配慮して整備していく。  
桜1万本植栽計画について

【問】足立区は、荒川の五色桜やアメリカからの里帰り桜など、桜との関係は大変に深い。区長の公約である公園の桜を倍増する桜1万本植栽計画は、積極的に取り組むべきと思う。

区内の桜の植栽状況及び今後の具体的な計画を伺う。  
【答】現在、区内の公園、児童遊園及び都立公園を含めて約6千700本の桜が植栽されている。

都では、中川公園に約40本、舎人公園に千本桜を目指して、今年度からは都区が協力し、里親制度を導入した桜植樹を予定している。

今後、新田や西新井西口地区等の拠点開発を始め、新設や改修を行う区立公園、児童公園では、1万本植栽を目指して積極的に植樹を進めていく。



古性 重則  
議員

国が不安定な時代だからこそ、地方から国を変えるチャンス！安心して暮らせる安全な街足立区を目指すために

【問】足立区の特徴(自然・環境を最大活用して、「エコシティ足立!! 環境NO1足立区!!」をスローガンに掲げ目指すべきである。全区民の参加による「区民との協働」の実現のためにNPQ、ボランティアへの支援をする新しい仕組みづくりが必要であると思うが、どうか。

【答】「区民との協働」の取り組みを充実するためには、啓発とPRが欠かせない。既存の広報メディア等を活用するとともに、パンフレット、映像PR等を活用し、政策提案、事業提案などの区民の提案を受け止め支援する仕組みづくりを検討していく。

安全な街足立区のインフラ整備を正確に行うためには  
【問】安心して暮らせる安全な街足立区を目指すために、また大規模災害後の土地境界の復元等のために、全ての土地の基準となる公共座標(世界測地系)による境界点管理を、アメリカGPSシステムを活用した手法を用い、足立区全土の統一図面を作成すべきと思うが、どうか。

【答】公共基準点の一部を世界測地系に移行し、GPS測量の導入について検討をしている。今後は、地図情報システムの開発や統一図面の作成を目指す。区政の構造改革には、まず「区職員の意識改革」が不可欠

【問】三位一体の改革は、地方分権のために必要なプロセスである。分権の成果を区民に還元していくために歳入面だけでなく支出面も含めて、より効果的な行財政運営を確立しなければならぬ。そのためには思い切った計画の策定と実行が必要である。国の構造改革にブレーキをかけたのは、官僚、役人の心の壁をどの様に取り払おうとしているのか、「区職員の意識改革」をどの様に喚起させようとしているのか伺う。

【答】管理職を対象とした「目標による管理」の手法による評価や、管理監督層と一般職員と



【問】管理職を対象とした「目標による管理」の手法による評価や、管理監督層と一般職員と

もあがるが国も支給額が現在の社会情勢から見てもアンバランスであるという意見も多く、改革を検討していると聞く。三位一体の改革、地方分権の時代だからこそ、制度改革を国と共に進めることができるのではないか。

【答】平成18年度に生活保護制度の改定が予定されているが、今までもどおり、適正な実施に努めていく。

【問】自治基本条例の大きな柱は区民参画のシステムである。その実現のためには、政策決定後のお知らせとしての「広報情報」だけでなく、政策決定前の「政策情報」を区民に公開することに、区と区民が情報を共有することが重要である。これらの情報を区民に公表することについてはどの様に考えているのか。

また、公表する場合には、どの様に行うのか伺う。  
【答】区では足立区政透明化計画により「結果情報のみ公開」から「過程情報も含めた公表」への転換を目指している。公表は、公文書提供サービスや行政評価制度などにより、過程情報の提供を行っていく。大学誘致について

【問】東京芸術大学の音楽学部音楽環境創造科が足立区に進出

## 足立区議会公明党



うすい 浩一  
議員

【問】今回の進出は誠に喜ばしいものであり、区民の皆さんに喜んでいただけるものと確信している。課題は、大学側は平成18年4月から開設したいとの意向であるので、改修などを早急に実施していくことである。電子調達について

【問】足立区には中小零細企業が多く、電子調達に対応できない企業も多いと思うが、区としてどの様な対応策を考えているのか。

また、電子調達システムについては代理申請が出来るよう配慮すべきと思うが、区の見解を伺う。  
【答】パソコン等の設備が間に合わない中小零細企業への対策として、区庁舎の会議室に端末を配置し、業者登録の資格審査申請の支援を予定している。

また、「なりすまし」や「改ざん」防止のため、代理申請は予定していないが、業者登録の資格審査申請の様式作成については、代理人が行えるシステムを構築する予定である。  
【問】中小企業に対する融資や経営相談等は喫緊の課題である。平成18年に(仮称)新産業振興センターが完成するが、ワンストップサービスの観点から、各金融機関や信用保証協会などの窓口を一本化した体制を立ち上げるべきと思うが、区の見解を伺う。  
【答】金融機関相談窓口の一本化については、それぞれの機関が所有している個人情報等の機密保持をはじめ、整備すべき条件を十分検討した上で、対応を図っていく。

また、「なりすまし」や「改ざん」防止のため、代理申請は予定していないが、業者登録の資格審査申請の様式作成については、代理人が行えるシステムを構築する予定である。  
【問】中小企業に対する融資や経営相談等は喫緊の課題である。平成18年に(仮称)新産業振興センターが完成するが、ワンストップサービスの観点から、各金融機関や信用保証協会などの窓口を一本化した体制を立ち上げるべきと思うが、区の見解を伺う。  
【答】金融機関相談窓口の一本化については、それぞれの機関が所有している個人情報等の機密保持をはじめ、整備すべき条件を十分検討した上で、対応を図っていく。

【問】観光資源の乏しい足立区にとつて、第2東京タワーの誘致は絶好のチャンスである。コンサルタントの調査結果と、今後の誘致における課題と区への対応を伺う。

【問】調査結果としては、放送事業者の姿勢や開発規模を勘案し、「東六甲地区」「入谷地区」については可能性があるとの報告を受けている。

今後は、NHKと在京民放5社からなる「新タワー推進プロ



【問】調査結果としては、放送事業者の姿勢や開発規模を勘案し、「東六甲地区」「入谷地区」については可能性があるとの報告を受けている。